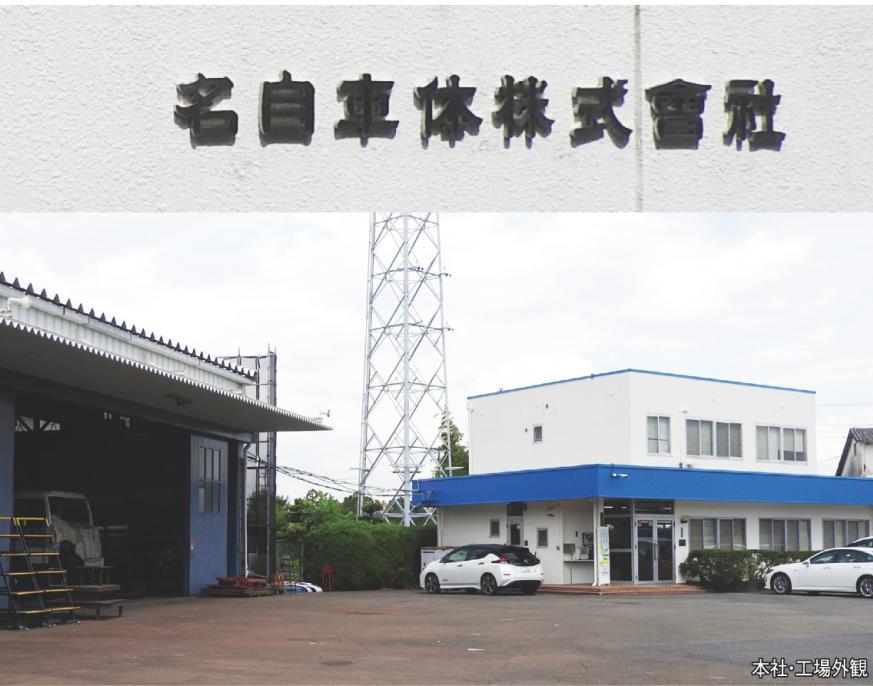


特種自動車、車体製造のパイオニア



# 名自車体株式会社



名自車体株式会社



サファリバス

1955年に現在の社名へと変更し、特種車両や医療特装車の製造を開始する。1979年には現社長の父・伊藤容正氏が社長に就任。年々事業規模を拡

うから驚きだ。

1955年に現在の社名へと変更し、特種車両や医療特装車の製造を開始する。1979年には現社長の父・伊藤容正氏が社長に就任。年々事業規模を拡

## 企業概要



取締役社長

伊藤 公一氏

所在地 (本社・工場) 愛知県弥富市鯰浦町用水上80番地  
TEL:0567-65-0551 FAX:0567-65-0687

創業 1927年(昭和2年)

設立 1955年(昭和30年)4月

資本金 1,500万円

従業員数 34名(2024年8月現在)

事業内容 バスおよび各種検診車、広報車、図書館車、採血車、検量車、テレビ中継車など、特種車の設計・製作

U R L <https://www.meijibody.co.jp/index.html>

斬新なアイデアと、きめ細かな機能設計で、顧客ニーズにマッチした車体を提案し続ける。

## 愛知から全国へ羽ばたく、 特種車体メーカー

愛知県弥富市に本社を置く名自車体株式会社は、1927年創業。まもなく100年企業となる同社は特種車体製造を中心とする事業とし、検診車をはじめとする医療特装車やオーダー

メイド架装車を作成している。

これまで手がけた車体のジャンルは多岐に渡り、私たちの生活の身近なところで活躍している。例えば、サファリパークを走るトラ

やライオンのサファリバスを作ったこともあるというと、親近感が湧きやすいだろうか。一台一台オーダーメイド方式で作り上げる車体は評判を呼び、今や顧客は全国各地へ広がっている。

## バス車体から始まり、 特装車に特化

1927年、同社の前身となる株式会社名古屋自動車製作所がバスやタクシーなどの旅客車の製造を開始。当時すでに自動車メーカー各社は電気自動車の開発販売を進めていたといい、

同社も電気自動車「ナゴヤ号」を開発、販売。一度の充電で70～80km走行できる、現代でも実用可能なスペックを持っていたとい

